

視覚障がい者の iPhone(VoiceOver)教室 テキスト  
Be My Eyes アプリの使い方(ダイジェスト版)

姫路デジタルサポート

2024 年 10 月 8 日

## 目次

1	はじめに.....	2
2	事前準備.....	2
3	登録(サインアップ)手続き.....	3
	(1) JOIN THE COMMUNITY 画面.....	3
	(2) 始めましょう画面.....	3
4	ボランティアと通話する.....	4
	(1) タブバーの選択.....	4
	(2) 通話の開始から終了.....	4
5	カメラで撮った写真を説明する.....	4
	(1) BE MY AI のカメラで写真を撮る.....	4
	(2) 追加の質問.....	5

## 1 はじめに

Be My Eyes は、視覚に障がいのある人が例えば、家電製品のスイッチのラベルを知りたいなど日常生活において読んでもらいたい、見てもらいたい時に、簡単にボランティアの視覚を借りることができるアプリです。

2023年8月から、写真を詳細に説明する機能である Be My AI が追加されました。Be My AI の写真説明は画期的なもので、人が目で見ることに近いと言えます。これまで、見えない人にとって写真はかかわりが少ないものでしたが、Be My AI を利用することで写真に対する概念が変わるのではないかと思います。

ここでは、ボランティアに見てもらう方法とカメラで撮った写真を説明させる方法について簡単に説明します。

なお、メールに添付された写真や写真アプリや Web 上の写真についても説明させることができますが、詳細は、別テキスト「Be My AI で写真を説明する」をご覧ください。

[https://voice.digital-society.org/index.php/text\\_tips-2/5-3-a-be-my-ai/](https://voice.digital-society.org/index.php/text_tips-2/5-3-a-be-my-ai/)

## 2 事前準備

### □ アプリのインストール

Be My Eyes アプリをインストールします。

- ・ アプリ名 : Be My Eyes バージョン 5.3.18
- ・ 最新版のアプリをインストールするには、iOS13.6 以上が必要です。
- ・ Siri に” アップストアでビーマイアイズをインストールして” とリクエストしても、App Store の 2 番目に表示されます。
- ・ 次のアプリリンクの URL をダブルタップすることで App Store にアプリのダウンロード開始の状態が表示されます。また、QR コードをコードスキャナーで読み取っても同じことができます。
- ・ アプリリンク :

<https://apple.co/3AmVCCJ>



図 Be My Eyes のアイコン



図 アプリリンクの QR コード

## □ インストールの操作

- ・右スワイプで「入手」ボタンに進み、ダブルタップします。なお、「開く」ボタンがあれば、そのアプリは、すでにインストールがされています。
- ・この前後に Apple ID のパスワードの入力を求められる場合があります。その場合は、サポーターに入力してもらいましょう。
- ・FaceID や TouchID で認証すると、パスワードの入力は不要です。

## 3 登録(サインアップ)手続き

Be My Eyes を起動すると、まず、サインアップの手続きを次の手順で行います。

### (1) Join the Community 画面

サポートを受ける人は次のボタンを押します。

- ・「視覚補助が必要です」ボタンをダブルタップします。
- ・「ボランティアとして参加したいです」ボタンは、ボランティアとして登録するためのボタンです。

- ・次に、個人情報保護と規約に同意します。

### (2) 始めましょう画面

- ・ここでは「Apple で続ける」ボタンを選びます。
- ・Apple ID や名前が入力されたサインイン画面が現れます。
- ・「続ける」ボタンをダブルタップします。
  - 指紋認証を利用する場合は、ホームボタンに指を置き、認証を行います。
  - 顔認証の場合は、続けるボタンをダブルタップします。
  - パスワードを要求された場合はサポーターに入力を依頼しましょう。
- ・その後、「ようこそ」画面で「はじめましょう」ボタンをダブルタップします。



図 サインアップの最初の画面



図 始めましょう画面：Appleで続けるボタン

## 4 ボランティアと通話する

### (1) タブバーの選択

画面の最下部のタブバーには、5つのタブが配置されています。右から「サポートを受ける」「Be My AI」「ディレクトリ」「コミュニティ」「設定」タブが右から並んでいきます。

- ・タブバーへの移動は、指をホームボタンからゆっくりと上にスライドさせる「指なぞり法」が効率的です。
- ・タブは、右または左スワイプで移動できます。

### (2) 通話の開始から終了

#### ・通話開始

「ボランティアに通話する」ボタンをダブルタップします。

マイクとビデオへのアクセスを許可します。「許可する」ボタンをダブルタップします。

ボランティアに接続されます。

- ・見て欲しいものを伝え、ボランティアの指示に従い、カメラを移動させます。
- ・通話を終了する  
2本指でダブルタップします。または、「電話を切る」ボタンをダブルタップします。
- ・体験レビューページが現れます。  
「問題」または「良い」ボタンをダブルタップします。

## 5 カメラで撮った写真を説明する

### (1) Be My AI のカメラで写真を撮る

Be My AI のカメラで撮った写真を説明させる方法を以下に説明します。大まかな流れは、「Be My AI」タブを押し、「写真を撮る」をダブルタップすることでデータがAIに送られ、解析が開始されます。

具体的な操作方法は次のとおりです。

- ①画面最下部のタブバーに移動します。
- ②左から2つ目の「Be My AI」ボタンにし、1本指ダブルタップします。「カメラを起動」と読み上げます。
- ③説明をしてほしい風景など対象にカメラを向けます。



図 タブバーとボランティアに通話するボタン



写真 Be My AI の画面

- ④左スワイプで「写真を撮る」ボタンまで移動し、一本指ダブルタップします。  
解析中との読み上げがあり、サウンドが鳴ります。
- ⑤その後、解析結果がテキストで表示され、VoiceOver が自動で読み上げます。  
この説明のコピーが必要な場合、下スワイプで「コピー」まで進み、ダブルタップをすることで、クリップボードにコピーされます。SNS などの投稿写真に代替テキストを貼り付けることができます。また、iPhone の写真のキャプションに貼り付けることもできます。

## (2) 追加の質問

この読み上げが不十分な場合、さらに、この写真について AI に追加の質問をすることができます。

- ・右スワイプすると、メッセージテキストフィールドと読み上げます。このテキストフィールドに質問を記入します。
- ・テキストフィールドを 1 本指ダブルタップします。テキストフィールド編集と読み上げます。
- ・キーボードから入力を行います。または、音声入力を行います。音声入力する場合は次のとおりです。
  - 2 本指ダブルタップすると、「ググ」と本体が振動するので、そのタイミングで、発話を開始します。
  - 発話が終われば、2 本指でダブルタップを行い、音声入力を終了します。
- ・右スワイプで、「メッセージ送信」ボタンまで進み、ダブルタップすることで、AI にデータが送られます。この場合は、サウンドがありませんので、注意が必要です。
- ・解析結果がテキストで表示され、自動で読み上げます。
- ・追加の質問は何度でもできます。また、この文脈に関して追加の写真を撮ることもできます。
- ・追加の説明でも不十分な場合は、ボランティアに診てもらうため、「ボランティアに通話する」ボタンをダブルタップします。

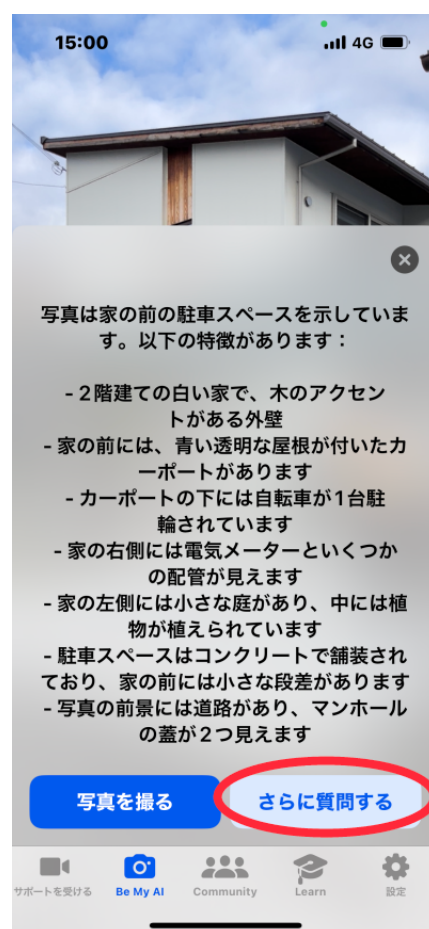


写真 Be My AI による写真の説明文と「さらに質問する」ボタン